

大阪市役所医師会報

発行 大阪市役所医師会

〒541-0055 大阪市中央区船場中央3-1-7-326 財団法人大阪市環境保健協会内 TEL (06)6254-7982

No. 131 2015(平成27年)4月

大阪市役所医師会員のみなさまへ

大阪市役所医師会会長 田中正博

この原稿の載る会報は4月に発行予定です。今年から研修医になられた先生は国家試験に合格されて、医師として研修を開始されて毎日が緊張と冷や汗の連続でしょうか。研修医以外の先生にとっても、3月と4月は別れと新しい出会いがあり、新たな気持ちで新年度を迎えられたのではないのでしょうか。



昨年4月に会長の交代があり、副会長と各種委員会の委員長が交代し、新しい市役所医師会の執行部選出から始め、手探りで活動した1年間でした。今年は、少しは慣れましたが、まだまだ未熟ゆえ、みなさまのご支援とご協力を引き続き、お願い申し上げます。

●今号の 主な内容

巻頭の言	1頁
市民公開糖尿病ゼミナール開催報告	5頁
第50回記念大阪市立弘済院附属病院 市民公開講座開催報告	11頁
平成26年度(第60回)市医学会長賞等授与者 及び抄録	15頁
大阪市医学会例会年間予定	20頁
代議員会報告(9~3月分)	21頁
お知らせ・編集後記	27頁

さて、昨年は準備不足のため、研修医のオリエンテーションで市役所医師会の説明をうまくすることができませんでした。今年は資料も準備しましたので、「よくわかっていただけた。」でしょうか。研修医以外の先生にも、市役所医師会のことがよくわかっていない先生がいらっしゃるようなので、この場を借りて、説明申し上げます。

まず医師会のいいところは、医師会に参加することで、自分の所属する診療科や医局・病院の枠を超えたつながりが広がります。学年も大先輩から、ちょっと先輩、同期、後輩と幅広くひろがっています。頼れる先輩や「腹心の友」・「朋輩」と出会える可能性だってあります！ 医師として、あるいは個人的に悩んだとき、困ったときには、相談にのってくれる先輩や友人がきっと見つかるでしょう。女性医師の会の活動を見ていると、特にそう感じます。

次に医師といえども、組織に勤務しているので、勤務条件を無視することはできません。一人で改善要求することは大変ですが、みんなの共通の困ったことを医師会に相談していただくことで、解決できる可能性があります。

大阪市役所医師会の自己紹介を少しばかりさせていただきます。大阪市役所医師会は大阪市立大学に勤務する医師を除いて、大阪市や大阪府に關係した独立行政法人などに勤務する医師のための医師会です。日本医師会、大阪府医師会の下部組織の郡市区等医師会の一つとなります。500名以上の会員数がある郡市区等医師会の中では大きな医師会です。

活動内容

大阪市役所医師会主催の学術集会と特別講演会を毎年8月頃に開催しています。優秀発表には副賞や発表者全員への資料作成費を負担しています。

女性医師の会とともに男女共同参画委員会活動をしています。

多くの講演会や市民公開講座などを後援しています。

大阪市役所医師会や女性医師の会の会報やホームページを作成しています。原稿や写真の投稿など大歓迎です。

研修医・レジデント委員会を組織し、次世代をになう若手医師の教育の応援をしています。



市医学会第60回会長賞授賞式

大阪市役所医師会会員は大阪市立大学医学部が運営している大阪市医学会の会員でもあります。大阪市医学会雑誌（欧文・和文）の出版や大阪市医学会会長賞などを支援しています。大阪市医学会会費（甲2種会員3,000円、乙種会員2,000円）は全額を大阪市役所医師会が負担しています。

厚生労働省や大阪府などから出される通達などの周知をしています。

大阪府医師会、大阪府下5大学医学部医師会、府庁医師会との定期交流会をしています。

日本医師会医師賠償責任保険の加入手続きをしています。万が一のときには大阪府医師会と契約している医療訴訟が専門の弁護士や大阪府医師会のサポートがあります。

以上の各種活動をしています。1年間におよそ6,000,000円が会員のために使われています。しかも大阪市役所医師会の年会費は無料です。ということは、加入して活動しないと損です!!

桜

いま大阪市立総合医療センター近くの桜ノ宮公園では桜が満開です。テレビや新聞、駅の掲示板などに桜の開花情報が報じられ、九州・四国から桜前線が北上するにつれて、「春がやって来た。」と実感します。

桜よりも早く梅や桃の花が咲くので、梅や桃の花に早春を感じる人も多いでしょうが、日本人に春をイメージする花は?と質問すれば桜と答える人が一番多いと思います。

桜の名所に出かけて鑑賞する桜はもちろん立派で綺麗ですが、家や勤務先の近く、あるいは保育所の庭でこぢんまりと咲いている桜もなかなか綺麗で楽しめます。仕事や家事が忙しくて、お花見に行く時間もないと嘆いている会員の皆さま、ちょっと時間を作って、近場の桜を楽しみましょう。



市民公開糖尿病ゼミナール 「ためしたカッテン2014」

平成26年11月5日

大阪市立総合医療センター糖尿病内分泌センター糖尿病内科 細井 雅之

11月14日は国際連合総会2006年12月に定められた世界糖尿病デー「World Diabetes Day」であり、全世界で、糖尿病撲滅のための啓蒙活動が行われます。日本糖尿病協会もこの日を中心として、「糖尿病週間」として、全国で、街頭キャンペーン、血糖測定活動、患者会活動などを毎年、繰り広げています。

当院でも、2011年から、市民公開糖尿病教室として、NHK「ためしてガッテン」をもじって「ためしたカッテン」を11月14日前後に行ってきました。

体験型糖尿病教室として、

1. 血糖測定、
2. SATコンピュータを使った、フードモデルによる栄養相談、
3. フットケア実践、
4. ゴムチューブをつかったレジスタンス運動実践、
5. 薬剤師による薬相談、
6. 糖尿病専門医によるよろず相談、

などを行ってきました。

当日は、スタッフとして糖尿病内科医師、糖尿病看護認定看護師、日本糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士）大阪糖尿病療養指導士（看護師、管理栄養士）に、協力してもらっています。本年度は11月5日（水）にさくらホールで行いました。358名（平成25年度232名）の市民の参加がありました。

本年は、広報を広くしていただき、非常に多くの市民に集まっていただきました。大阪市役所医師会からは助成金をいただき、①「市民公開ゼミナール読本2014-2015」という58ページの冊子を作成配布、②「セラミックチューブ」を購入し、当日、配布して運動療法実践指導させていただきました。大阪市役所医師会に対して、改めて厚く御礼申し上げます。

知っているようで知らない糖尿病
ためしたカッテン2014-2015

市民公開糖尿病ゼミナール 読本

大阪市立総合医療センター糖尿病センター

大阪市役所医師会

DM net ONE



大阪市立総合医療センター 糖尿病・内分泌センター

市民公開糖尿病ゼミナール

ためしたカッテン2014

開催日 2014年11月5日(水)
AM9:30~PM2:00(随時受付)

場所 大阪市立総合医療センター さくらホール

参加費無料/申込不要

お薬相談
今年も出ました!糖尿病新薬!

運動療法
要知恵に効率的
これならできるエクササイズ

バーチャルバイキング
5つ★選べるにチャレンジ!

血管年齢測定
いつまでも若いと思える
血管年齢

血糖測定
ありの〜♪ママの〜♪
血糖値〜測るのよ〜♪

地域連携
地域に届けよう糖尿病支援の輪

世界糖尿病デー 11月14日
あなたとあなたの大切なひとのために

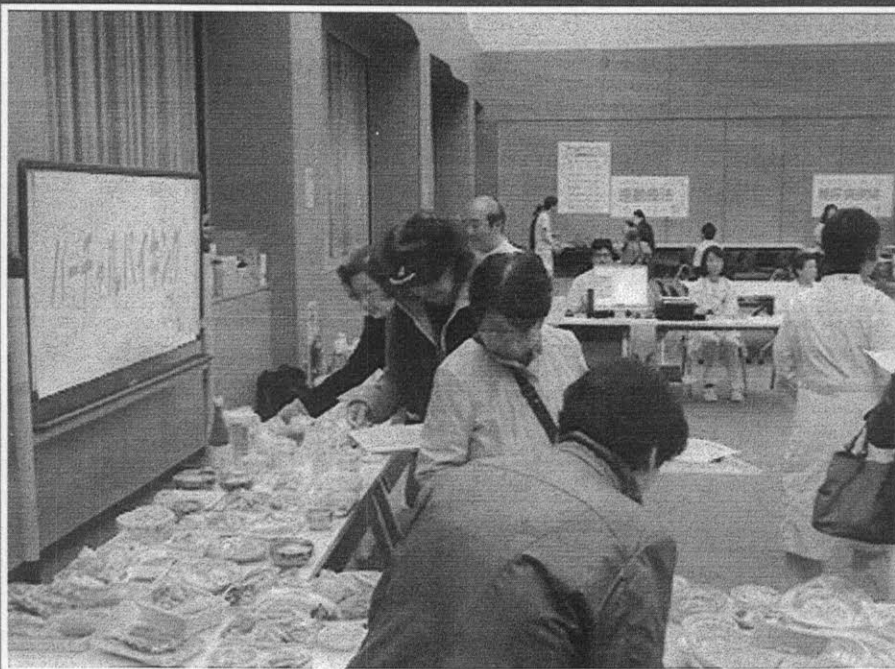
DMnet ONE
DM network in Osaka North East

TEL 06-6929-3643/FAX 06-6929-0886 共催 大阪市医師会・DMnet ONE・糖尿病地域連携支援センター

市民公開糖尿病ゼミナール「ためしたカッテン2014」



バーチャルバイキング「SATシステム」



「フットケア」心も足もリフレッシュ



チューブを使ったレジスタンストレーニング



いつも大人気、血管年齢測定



ただなら並ぶ、血糖測定



当院作成、オリジナルビデオ「糖尿病劇場」



第50回記念大阪市立弘済院附属病院 市民公開講座を開催しました！

大阪市立弘済院附属病院には、平成15年より「大阪市立大学大学院医学研究科と高齢者医療の連携にかかる連絡協議会」という組織があり、例年その主催で市民公開講座を開催してきました。今回は、50回目を迎えたことを記念し、総合医療センターさくらホールで、東京都健康長寿医療センター研究所の栗田圭一先生をお招きして第50回記念市民公開講座を行いました。当日のプログラムは以下の通りです（添付ビラ）。

弘済院附属病院の市民公開講座は、例年は、弘済院内にある寿楽館という会場で年4回開催し、そのうち1回は大阪市立大学大学院医学研究科の先生が講演を担当されます。さらに毎秋には、大阪市立大学医学部学舎において「ジョイントセミナー」として、大学教員と弘済院医師が講演を行っています。

90床という小さな病院規模の割に、市民公開講座や研修の開催回数が多く、専門の運営委員会を定期的に開催しているのが実情です。これは、大阪市立でありながら弘済院がやや離れた立地にあること、長らくその存亡が問われてきていること、市民啓発が施策に位置付けられている認知症という疾病をテーマとしていることなどが背景にあります。

弘済院附属病院は、大阪市北エリア8区（北区、都島区、旭区、淀川区、東淀川区、西淀川区、福島区、此花区）を担当する認知症疾患医療センターとして大阪市の指定を受けており、大阪市域における認知症の専門的医療機関として積極的に活動してきています。総合医療センターの所在地の都島区は担当エリアになります。

基調講演では、栗田先生から認知症施策の方向性をわかりやすくご説明いただき、東京都での取り組みを例示いただきました。2部では弘済院のこれまでの取り組みと、昨今話題の認知症と車の運転について当院での調査結果を含めて、そして弘済院が主要テーマとしている認知症の患者・家族支援の取り組みから「認知症の人と家族を支えた名言」の紹介がありました。約300名の参加があり、参加された市民の方からは活発なご意見をいただき、終了後も講師を囲んでの質問が続きました。

病院をとりまく状況は厳しいものがありますが、引き続き市民啓発にも努めていきたいと考えています。最後になりますが、今回ご支援いただきました市役所医師会に感謝申し上げ、ご報告とさせていただきます。

（記 弘済院附属病院市民公開講座運営委員会 中西亜紀）

第50回記念 大阪市立弘済院附属病院市民公開講座

—大阪市立大学大学院医学研究科と大阪市立弘済院附属病院の高齢者医療に関する連携にかかる連絡協議会共催—

第1部 特別講演

「認知症について学ぼう」

～都市部における現状と課題を含めて～

講師：東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と介護予防研究チーム研究部長

栗田 圭一

第2部 いつまでもこの街で暮らすために

「ご存知ですか？大阪市立弘済院」

講師：弘済院附属病院 認知症疾患医療センター長 中西亜紀

「認知症と車の運転」～外来からの報告～

講師：弘済院附属病院 認知症疾患医療センター 副センター長 河原田洋次郎

「認知症の人と家族を支えた名言」

～家族の会と認知症教室での家族の言葉より～

講師：弘済院附属病院 認知症看護認定看護師 森本早苗

日 時 平成27年1月24日(土) 午後2時～4時30分
場 所 大阪市立総合医療センター さくらホール(裏面参照)
住 所 大阪市都島区都島本通2-13-22
電 話 06-6929-1221
会 費 無 料 定 員 300名(先着順)
後 援 大阪市役所医師会

申込方法・問合せ先

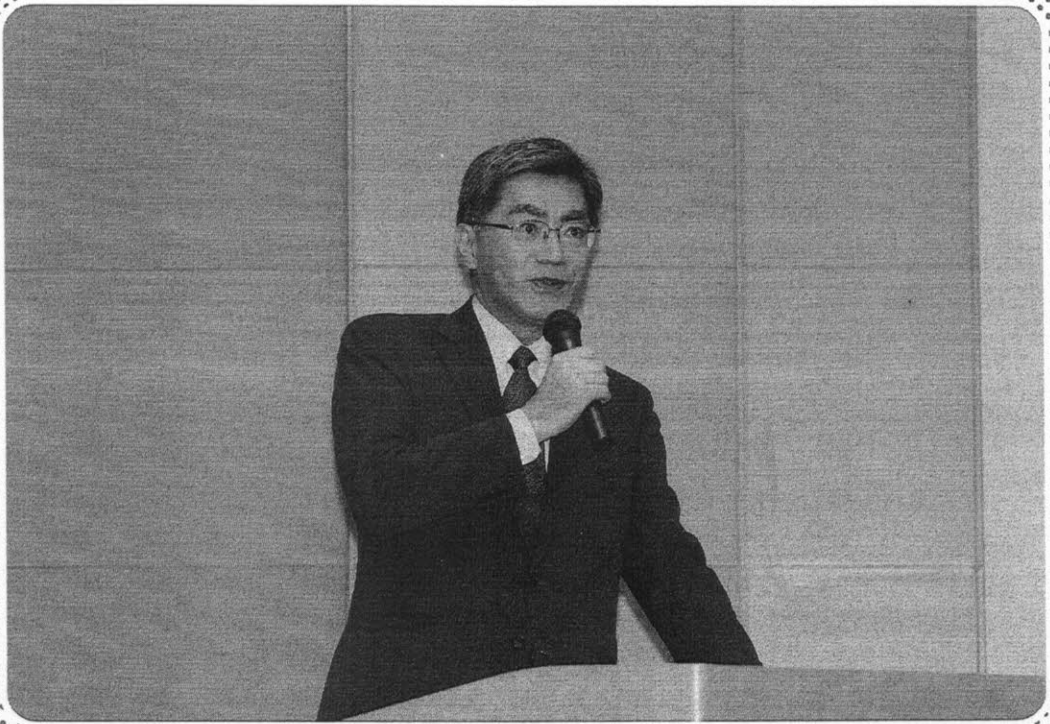
大阪市立弘済院附属病院

〒565-0874 大阪府吹田市古江台6-2-1

TEL 06-6871-8013(平日9時～17時) FAX 06-4863-5351

ハガキ、FAX(第50回公開講座、氏名、住所、電話番号を記入)、または弘済院附属病院窓口で、事前にお申込みください。定員を超えた場合のみ連絡します。お申込みされた方は、当日直接会場へお越しください。

申込締切 平成27年1月16日(金) 消印有効





弘濟院のうめ（八重）



弘濟院の桜



弘濟院のすもも

平成 26 年度 (第 60 回)
大阪市医学会長賞、大阪市医学会賞
受賞者

平成 26 年度の大阪市医学会長賞論文が 2 編、また、大阪市医学会長賞が 7 編選考されました。
そのうち、大阪市役所医師会員に関連する 2 編の抄録を掲載します。

【大阪市医学会長賞】

氏名・所属

梅田知宙・前川智美 (大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経科学)
木村哲也・高島明彦 (国立長寿医療研究センター
認知症先進医療開発センター 分子基盤研究部)
富山貴美・森 啓 (大阪市立大学大学院医学研究科 脳神経科学)

論文題目

Neurofibrillary Tangle Formation by Introducing Wild_type Human Tau into APP Transgenic Mice
(APP トランスジェニックマウスへの野生型ヒトタウの導入による神経原線維変化の形成)

掲載誌および発刊年

Acta Neuropathologica 2014;127:685-698

氏名・所属

鈴木嗣敏・中村好秀・吉田修一郎・
吉田葉子 (大阪市立総合医療センター 小児不整脈科)
新宅治夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学)

論文題目

Differentiating Fasciculoventricular Pathway from Wolff-Parkinson-White Syndrome by
Electrocardiography
(心電図による WPW 症候群と束枝心室副伝導路の鑑別)

掲載誌および発刊年

Heart Rhythm 2014;11:686-690

【大阪市医学会賞】

氏名・所属

萩原良恵 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
大藤さとこ (大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学)
渡辺憲治・山上博一 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
福島若葉 (大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学)
前田一洋 (大阪大学 微生物病研究会)
鎌田紀子・十河光栄・斯波将次・
谷川徹也・富永和作・渡辺俊雄・
藤原靖弘 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
廣田良夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学)
荒川哲男 (大阪市立大学大学院医学研究科 消化器内科学)

論文題目

Infliximab and/or Immunomodulators Inhibit Immune Responses to Trivalent Influenza Vaccination in
Adults with Inflammatory Bowel Disease

(インフリキシマブもしくは免疫調整剤の単独ないし併用療法を受けている成人 IBD 患者に
おける 3 価インフルエンザワクチンの免疫応答は阻害される)

掲載誌および発刊年

Journal of Crohn's & Colitis 2014;8:223-233

【大阪市医学会賞】

氏名・所属

長谷川毅・八代正和・西居孝文・
松岡順子・冬廣雄彦・森崎珠実・
福岡達成 (大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学)
清水 清 (協和発酵キリン株式会社 研究開発本部)
清水寿通 (協和発酵キリン株式会社 監査部)
三輪篤史 (協和発酵キリン株式会社 研究開発本部)
平川弘聖 (大阪市立大学大学院医学研究科 腫瘍外科学)

論文題目

Cancer-associated Fibroblasts Might Sustain the Stemness of Scirrhous Gastric Cancer Cells via Transforming Growth Factor- β Signaling
(癌関連線維芽細胞は TGF β シグナルを介してスキルス胃癌幹細胞を制御する)

掲載誌および発刊年

International Journal of Cancer 2014;134:1785-1795

氏名・所属

伊藤朝広・杉岡憲一・松村嘉起・
藤田澄吾子・岩田真一・花谷彰久・
穂積健之 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
上田真喜子 (大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学)
葭山 稔 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)

論文題目

Rapid and Accurate Assessment of Aortic Arch Atherosclerosis Using Simultaneous Multi-plane Imaging by Transesophageal Echocardiography
(経食道心エコーによる同時多断面イメージング法を用いた大動脈弓部の動脈硬化評価についての検討)

掲載誌および発刊年

Ultrasound in Medicine and Biology 2013;39:1337-1342

氏名・所属

山本圭一・嶋田裕之 (大阪市立大学大学院医学研究科 老年内科学)
康 秀男 (大阪市立大学大学院医学研究科 血液腫瘍制御学)
安宅鈴香・三木隆己 (大阪市立大学大学院医学研究科 老年内科学)

論文題目

Serum Levels of Albumin-amyloid Beta Complexes are Decreased in Alzheimer's Disease
(血清中アルブミンアミロイド β 複合体はアルツハイマー病患者において減少している)

掲載誌および発刊年

Geriatrics & Gerontology International 2014;14:716-723

氏名・所属

山根英雄・井口広義・小西一夫・
坂本平守・和田匡史・藤岡孝典・
松下直樹・井元俊夫 (大阪市立大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉病態学)

論文題目

Three-dimensional Cone Beam Computed Tomography Imaging of the Membranous Labyrinth in Patients with Meniere's Disease
(コーンビーム3DCTによるメニエール病患者の内耳膜迷路解析)

掲載誌および発刊年

Acta Oto-laryngologica 2014;134:1016-1021

【大阪市医学会長賞】

氏名・所属

造酒慶喬 (大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学)
多田卓仁 (和泉市立病院 放射線科)
加茂理英 (大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学)
細野雅子 (大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学)
田宮久詩 (大阪市立大学大学院医学研究科 皮膚病態学)
島谷康彦・堤 真一・荻野 亮 (大阪市立大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学)
三木幸雄 (大阪市立大学大学院医学研究科 放射線診断学・IVR学)

論文題目

Single Institutional Experience of the Treatment of Angiosarcoma of the Face and Scalp
(当院における頭皮および顔面血管肉腫に対する放射線治療)

掲載誌および発刊年

British Journal of Radiology 2013;86:20130439

氏名・所属

稲葉真由美 (大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学)
杉岡憲一 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
成子隆彦 (大阪市立総合医療センター 循環器内科)
柚木 佳 (大阪市立総合医療センター 循環器内科)
加藤泰之・柴田利彦 (大阪市立総合医療センター 心臓血管外科)
井上 健 (大阪市立総合医療センター 病理診断科)
大澤政彦 (大阪市立大学大学院医学研究科 診断病理学)
葭山 稔 (大阪市立大学大学院医学研究科 循環器内科学)
上田真喜子 (大阪市立大学大学院医学研究科 病理病態学)

論文題目

Enhanced Expression of Hemoglobin Scavenger Receptor and Heme Oxygenase-1 is Associated with Aortic Valve Stenosis in Patients Undergoing Hemodialysis

(血液透析患者において、ヘモグロビンスカベンジャー受容体およびヘムオキシゲナーゼ-1の発現増強は、大動脈弁狭窄症と関連する)

掲載誌および発刊年

Hemodialysis International 2014;18:632-640

「鈴木嗣敏他4名の論文抄録」

Differentiating Fasciculoventricular Pathway from Wolff-Parkinson-White Syndrome by Electrocardiography (心電図による WPW 症候群と束枝心室副伝導路の鑑別)

1) 大阪市立総合医療センター小児不整脈科、2) 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学

鈴木嗣敏¹⁾、中村好秀¹⁾、吉田修一郎¹⁾、吉田葉子¹⁾、新宅治夫²⁾

【目的】 QRS 幅が 120 ms 以下でデルタ波を有している症例を対象に、WPW 症候群 (以下 WPW) と束枝心室副伝導路 (以下 FVP) の鑑別診断を行う。また学校心臓検診で WPW と診断された症例に FVP がどれくらい含まれているか検討する。

【対象】 2006 年 4 月から 2008 年 3 月までに、学校心臓検診で WPW と診断された症例のうち、QRS 幅が 120 ms 以下の症例を対象とした。間欠性 WPW 症候群と判断した症例と喘息発作の既往のある症例は除外した。

【方法】 洞調律中に ATP を 0.3 ~ 0.4 mg/kg/dose 急速静注し、その反応によって FVP と WPW の鑑別診断を行い、検討した。WPW の Rosenbaum 分類に準じて type A、B に分類して検討した。FVP 群と WPW 群に分けて、年齢、PR 時間、QRS 幅について検討した。

【結果】 対象症例は 30 例。年齢中央値 12.7 歳 (6.5 ~ 15.7 歳)。type A が 6 例、type B が 24 例。FVP と診断された症例は 23 例、76.7%。WPW と診断された症例は 7 例、23.3%。type A は 6 例全てが WPW、type B は 24 例中 23 例が FVP、1 例が WPW と診断された。FVP 群と WPW 群で、年齢、PR 時間、QRS 幅に有意差を認めなかった。

【結論】 FVP は稀と報告されており、教科書にもそのように記載されているが、実際には QRS 幅が 120ms 以下で WPW と診断されている症例の多くが FVP である可能性が示唆された。特に type B で QRS 幅が 120ms 以下の WPW と診断されている症例の中に FVP が多く潜在している可能性がある。FVP の頻度については、今後検討が必要である。

<選考理由>

鈴木嗣敏氏 ほか 4 名の研究は、

学校心臓検診で WPW 症候群と診断された学童を対象に、カテーテルを用いた電気生理学的検査ではなく、非侵襲的な ATP ストレストテストによる方法で突然死のリスクのある WPW 症候群とそうでない側枝心室副伝導路 (FVP) の判別が可能であることを示した論文である。FVP は稀とされていたが、実際には QRS 幅が 120 ms 以下で WPW と診断されている症例の多くが FVP であり、特に type B と診断されている症例の中に FVP が多く潜在している可能性を示し、今後の FVP と WPW の頻度の再評価を促す優れた研究である。よってここに大阪市医学会長賞を授与されるに値するものと判定された。

「稲葉真由美他9名の論文抄録」

Enhanced Expression of Hemoglobin Scavenger Receptor and Heme Oxygenase-1 is Associated with Aortic Valve Stenosis in Patients Undergoing Hemodialysis (血液透析患者において、ヘモグロビンスカベンジャー受容体およびヘムオキシゲナーゼ1の発現増強は、大動脈弁狭窄症と関連する)

1) 大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学、2) 大阪市立大学大学院医学研究科循環器内科学、3) 大阪市立総合医療センター循環器内科、4) 大阪市立総合医療センター心臓血管外科、5) 大阪市立総合医療センター病理診断科、6) 大阪市立大学大学院医学研究科診断病理学

稲葉真由美¹⁾、杉岡憲一²⁾、成子隆彦³⁾、柚木 佳³⁾、加藤泰之⁴⁾、柴田利彦⁴⁾、井上 健⁵⁾、大澤政彦⁶⁾、葭山 稔²⁾、上田真喜子¹⁾

【目的】 血液透析患者は大動脈弁狭窄症の罹患率が高く、急速に進行しやすいことが知られている。そこで本研究は、大動脈弁置換術を施行された血液透析患者の大動脈弁切除検体を用いて、弁内出血、血管新生、ヘモグロビンスカベンジャー受容体 (CD163) 発現、およびヘムオキシゲナーゼ1 (HO-1) 発現との関連性について免疫組織化学的に解析した。

【対象と方法】 高度な大動脈弁狭窄症のために大動脈弁置換術が施行された患者のうち、血液透析患者 26 例、非血液透析患者 25 例を対象とした。切除された大動脈弁の凍結切片を作成し、平滑筋アクチン、マクロファージ、グリコフォリン A (赤血球膜上の特異的蛋白)、内皮細胞 (CD31)、CD163 および HO-1 に対する各抗体を用いて免疫組織化学的染色を施行した後、モルフォメトリー解析を行った。

【結果】 CD163 陽性マクロファージスコア、CD31 陽性微小血管数、グリコフォリン A 陽性領域、HO-1 陽性領域は、透析患者において非透析患者よりも有意に高値であった (それぞれ $p < 0.0001$)。免疫二重染色を施行したところ、CD163 あるいは HO-1 陽性細胞の大部分はマクロファージであった。さらに CD163 陽性マクロファージスコアと、グリコフォリン A 陽性領域、HO-1 陽性領域、CD31 陽性微小血管数との間には正の相関が認められた (グリコフォリン A, $R=0.66$, $p < 0.0001$; HO-1 陽性領域, $R=0.50$, $p < 0.0005$; CD31 陽性微小血管, $R=0.38$, $p < 0.01$)。

【結論】 これらの所見から、血液透析を施行した大動脈弁狭窄症の大動脈弁組織においては、弁内出血、血管新生、および弁内出血への反応としての CD163 や HO-1 の発現の間には正の相関が認められることが示唆された。

大阪市医学会例会年間予定（普通演題のみ）

平成27年度

月	例会予定 年6回 第3木曜				編集委員会
	開催日	場 所	普通演題 申込み締切日	当番教室 (変更あり)	(年4回) 4・6・1/第2火曜 11/第4火曜
4月	*	*	*	*	4月14日(火) 16:30~
5月	第485回 5月21日	4F大講義室	4月3日(金)	機能細胞形態学 器官構築形態学	*
6月	*	*	*	*	6月9日(火) 16:30~
7月	第486回 7月16日	4F大講義室	6月5日(金)	システム神経科学	*
8月	*	*	*	*	*
9月	*	*	*	*	*
10月	第487回 10月15日	4F大講義室	9月4日(金)	細胞情報学 細胞機能制御学	*
11月	第488回 11月19日	4F大講義室	10月6日(火)	分子病態薬理学 運動生体医学 薬効安全性学	11月24日(火) 16:30~
<p style="text-align: center;">市医学会の受付は「普通演題のみ」となりますのでご注意ください。 (平成22年度より、例会において学位論文の発表をする方は、学位審査を同時にすることになりました)</p>					
12月	第489回 12月17日	4F大講義室	11月6日(金)	都市環境病理学 病理病態学	*
1月	第490回 1月21日	4F大講義室	12月4日(金)	細菌学 ウイルス学	1月12日(火) 16:30~
2月	第491回 2月4日	4F大講義室	1月8日(金)	産業医学 公衆衛生学	*
3月	第61回会長賞 3月24日	(会長賞) 4F大講義室	*	*	*

- 上記日程は開催予定ですので、当番教室等変更される場合があります。
 なお、内容の要旨・抄録の提出日については市医学会までお問い合わせ下さい。
- 大阪市医学会事務局（月曜～金曜）の受付時間はAM. 9:30～PM. 5:00です。
 お問い合わせ先 医学部学舎12F 担当：百々（ドド）
 FAX & TEL：06-6645-3782
 Email:shiigakukai@med.osaka-cu.ac.jp

大阪市役所医師会 平成26年9月代議員会議事録

と き：平成26年9月24日（火） 午後6時30分～7時

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 出雲谷恭子 鈴木真司 古塚大介
池原照幸（6名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：稲田 浩 宮村鈴子 中田真一 以倉康充 森 秀夫
平林 円 國行秀一 英久仁子 細井雅之 愛場庸雅
依藤 亨 撫井賀代 川脇 壽 山崎 修 高野保名（15名）

1. 委員会報告

・会長報告 総会終了の謝礼

・各委員会報告

広報委員会 会報130号10月中旬発行予定で校正中

2. 議題

・十三市民病院糖尿病フェスタについて

・後援、共催等の支援、講師料等の基準について

・退職する大阪府医師会代議員の後任について

・独立行政法人化の説明について

・健康局医師が独立行政法人で医療行為に従事する場合は、現任研修となる件について

大阪市役所医師会 平成26年10月代議員会議事録

と き：平成26年10月28日（火） 午後6時30分～

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 志村雅彦 出雲谷恭子 鈴木真司 村田佳津子 細井雅之
西口幸雄 古塚大介 山田明子（9名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：依藤 亨 宮村鈴子 以倉康充 高野保名 森 秀夫 撫井賀代
川崎靖子 國行秀一 中田真一 平林 円 原 純一（11名）

1. 委員会報告

・会長報告

10月度大阪府医師会群市等医師会長協議会報告

医学会総会登録について

改正道路交通法において、医師は必要に応じ該当患者が運転免許保持者どうかの確認ができ、診察結果を公安委員会へ任意に届出ることができる。

障害認定指定医の申請手続きが変更について

住吉市民病院跡地における民間病院の誘致について

・各委員会報告

広報委員会 会報130号発行した。

学術集会特別講演の小田先生への発送について（事務局対応）

2. 議題

・後援等申請の用紙について事務局より提案

・弘済院附属病院の50回記念市民公開講座への後援と援助依頼について

・新たに医師が配置された部署（教育委員会）の代議員の追加について

・独立行政法人化に伴い兼務が廃止となり、現任研修制度となったことについて
不利益等、独立行政法人側と行政側の医師との格差について事務局で調査

大阪市役所医師会 平成26年11月代議員会議事録

と き：平成26年11月26日（水） 午後6時30分～午後7時

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 村田佳津子 志村雅彦 出雲谷恭子 鈴木真司
細井雅之 高野保名 栗原敏修（9名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 國行秀一 古塚大介 森 秀夫 山田明子 依藤 亨
宮村鈴子 撫井賀代 英久仁子 池原照幸 中田真一 平林 円
稲田 浩 吉野祥一 川脇 壽 中西亜紀（16名）

1. 委員会報告

・会長報告 11月度大阪府医師会群市等医師会長協議会報告

- ・エボラ出血熱の基幹施設は大阪府では総合医療センターとりんくう
- ・大阪府医師会文化講演会の開催 1月17日
- ・医師登録について各病院に通知 →メールがあったので事務局から関係先に周知済み

・各委員会報告

広報委員会 会報131号来年3月発行予定。

2. 議題

・独立行政法人化に伴う医師の処遇について事務局報告

① 兼務と現任研修との差について

- 行政と独立行政法人の間で、兼務はあり得ない
- 府と府の独立行政法人の間も同様

② 行政と診療する医師の給与格差について

- 現状、格差は生じている（年度内はこのまま）

③ 弘済院に兼務で診療した場合、給与カットがあるのか？

- 給与のカットはもともとない

④ 現任研修で超過勤務となった場合、手当はでるのか？

- 研修での超過勤務はない

- ・この件については、健康局等の医師に不利益が生じていないか今後も確認していく
- ・次回、12月の代議員会は休会

大阪市役所医師会 平成27年1月代議員会議事録

と き：平成27年1月27日（火） 午後6時30分～7時

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 依藤 亨 鈴木真司 村田佳津子 古塚大介
西口幸雄 稲田浩 細井雅之 吉野祥一 清水貞利（11名）
木幡利至朗（事務局）

委任状提出：志村雅彦 中西亜紀 愛場庸雅 國行秀一 平林 円 川脇 壽
宮村鈴子 中田真一 栗原敏修 林下浩士 川崎靖子 高野保名
舟本仁一 有元秀樹 山口利昌 出雲谷恭子 山田明子
撫井賀代 河田 弘（19名）

1. 委員会報告

・会長報告

- ・1月24日開催弘済院50回記念市民公開講座 約300人参加
- ・記録写真撮影用のカメラの購入について
- ・1月大阪府医師会都市等医師会長協議会報告
- ・新たな財政支援制度の在宅医療推進事業（在宅医療コーディネータ事業）開始
- ・各医療施設の職員健診実施報告
- ・大阪府地域医療介護総合確保基金事業（がん対策）にかかる周知依頼
総合医療センターはダビンチが対象となる
- ・医師賠償保険の更新案内について

・各委員会報告

総務委員会 1月24日開催市民公開講座の謝辞あり

広報委員会 会報131号は来年3月発行予定を4月に新年度号として発行

2. 議題

- ・清水代議員より3月6日開催予定の医療安全管理研修に後援依頼
- ・村田副会長より2月25日開催の女性医師会への参加要請
- ・府医師会より新研修医歓迎ウェルカムパーティの役員参加要請
→会長出席、他は調整
- ・次回、2月の代議員会は2月17日（火）とする

大阪市役所医師会 平成27年2月代議員会議事録

と き：平成27年2月17日（火） 午後6時30分～午後7時15分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 澤田好伴 志村雅彦 出雲谷恭子 鈴木真司 村田佳津子
依藤 亨 吉野祥一 西口幸雄 細井雅之 栗原敏修 古塚大介
高野保名（13名） 木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 稲田 浩 平林 円 河田 弘 中田真一 外川正生
國行秀一 宮村鈴子 川脇 壽 舟本仁一 撫井賀代 山田明子
清水貞利（13名）

1. 委員会報告

・会長報告

- ・代議員会予定 3/25(水) 4/28(火) 5/27(水) 6/23(火) 7/22(水) 8/25(火)
- ・学術集会について 8/29の予定 特別講演講師は委員長が検討
- ・カメラレンズ購入について
- ・大阪市医学会会長賞選考委員選定について澤田副会長に一任

・各委員会報告

総務委員会

広報委員会 会報131号4月に新年度号発行予定

2. 議題

・大阪市医学会会長賞

3/24授与式 会長出席

今回、鈴木嗣敏Dr他（小児不整脈科）が会長賞を受賞

副賞の分担金支出

・後援申請 第7回「認知症」医療・福祉専門職研修

志村副会長説明、12月にさくらホールで実施、後援のみ

・給与改定について（鈴木勤務条件等検討委員長説明）

・医師の超勤など理解できていないケースもあり、病院に詳しい説明を要望する

・村田副会長 2月25日開催の女性医師の会総会への参加要請あり

・次回、3月の代議員会は3月25日（水）

大阪市役所医師会 平成27年3月代議員会議事録

と き：平成27年3月27日（火） 午後6時30分～7時5分

ところ：総合医療センター3階 さくらルーム

出席者：田中正博 村田佳津子 澤田好伴 中西亜紀 出雲谷恭子 依藤 亨
鈴木真司 西口幸雄 細井雅之 根引浩子 山田明子 山口利昌（12名）
木幡利至朗（事務局）

委任状提出：愛場庸雅 川脇 壽 國行秀一 古塚大介 村上洋介 高野保名
稲田 浩 平林 円 森 秀夫 中田真一 宮村鈴子 舟本仁一
撫井賀代 清水貞利 林下浩士 吉野祥一 栗原敏修（17名）

1. 委員会報告

・会長報告

- ・2月大阪府医師会都市医師会会長会出席報告（伯井大阪府医師会会長発言等）
- ・大阪医学会会長賞3/24授与式 鈴木嗣敏Dr（小児不整脈科）会長賞受賞

・各委員会報告

総務委員会 報告事項なし

広報委員会 会報131号の原稿について

男女共同参画委員会 2/25女性医師の会総会への参加への謝礼

5/1に女性医師の会ウエルカムパーティーを企画、周知依頼

大阪市女性医師ネットワークへの参加

学術委員会 8/29学術集会の特別講演者の選任について代議員全員に呼びかけを行う

2. 議題

- ・平成27年度予算、事業計画について
 - ▶事務局案として昨年度と同額の提示
 - ▶レジデント研修医委員会の予算計上、事業計画に項目追加
 - ▶大阪市女性医師ネットワークとの連携強化
- ・大阪府医師会の予備代議員1名が3月末で退職予定のため後任の選任
- ・医師の超過勤務手当などがよく理解できていないため、説明会開催を法人当局に要望
- ・次回、3月の代議員会は4月28日（火）とする



お知らせのページ



大阪市役所医師会年次学術集会のご案内（第1報）

各位 本年も恒例の大阪市役所医師会学術集会を、平成27年8月29日（土）に大阪市立総合医療センターさくらホールにおいて開催することとなりました。

昨年同様、所属部門の What's new? を募集したいと思いますので、ご準備いただければ幸いです。正規の演題募集は後程ご案内いたします。よろしく願い申し上げます。

大阪市役所医師会学術委員長、大阪市立総合医療センター 依藤 亨

会員名簿について

会員名簿については、大阪市役所医師会ホームページ <http://www.ocma.jp/> の会員専用ページに掲載しております。会員専用ページ閲覧に必要なIDとパスワードは平成26年6月1日に更新されましたが、平成26年5月に事務局より先生方に通知させていただきました。平成27年も6月1日に更新予定ですので、改めて事務局より通知いたします。

会員情報を各自ご確認いただき、修正必要箇所がありましたら、恐れ入りますが事務局までメールにてお知らせください。年度途中で退職予定の方は、退会届を事務局にご提出ください。その他、会員の転入・転出・異動があればご一報くださいますようお願いいたします。

大阪市役所医師会事務局の連絡先は、TEL 06-4792-7075、
メールアドレスは ishikai@oepa.or.jp です。

編集後記

勤務医師会報131号が出来ましたのでお届けします。先生方にはお忙しい中原稿をお寄せいただきありがとうございました。きれいな写真も紙面では白黒ですので、是非とも大阪市役所医師会のホームページでもご覧ください。

大阪市そのもののあり方が市民に問われている昨今、大阪市に勤務する私たちも先行きが見えず、不安にかられることもあるでしょうが、それぞれの立場で使命を果たせるよう努力を続けていきたいと思えます。

当会報やホームページでは、その他の学会・イベントのご案内、研究論文、留学・研修記などの原稿、季節の写真等を受け付けておりますので、会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

（出雲谷 恭子 記）

大阪市役所医師会 女性医師の会

平成27年度 ウエルカムパーティーのお知らせ

☆恒例のケーキ&軽食ビュッフェ☆

場 所 : 大阪市立総合医療センター 3階 さくらルーム

日 時 : 平成27年 5月 1日(金)
17時30分 ~ 19時30分
上記時間帯は出入り自由です!
好きな時間にご参加ください。

18時30分~19時00分
新入会員向けオリエンテーションがあります。
継続の先生方もお時間が許せばこの時間帯もご参加いただき、
新しい先生方とお近づきになりましょう♪

お問い合わせ先 : 大阪市役所医師会事務局
TEL 06-4792-7075
メール ishikai@oepe.or.jp

当日参加もOK! ケーキ、サンドイッチなど軽食食べ放題♪
お持ち帰りもできます☆☆
短時間でも結構ですので、
お誘いあわせのうえ是非ともご参加ください。

大阪市役所医師会に所属する女性医師の会です。
総合医療センターだけでなく、
いろいろな職場・立場で働いている女性医師同士、
美味しいケーキやお茶をいただきながら、
気楽に情報交換いたしましょう♪



参加費 : 無料